

お忙しくても、約 2 分間で読めます

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

人間の命は天からの授かり物 川島 廣守 (元日本プロ野球コミッショナー、現在本田財団理事長)

1. 私が人生の師・安岡正篤先生は、いつも縁の大切さについてお話しになった。「人間はできるだけいい機会・いい言葉に会うことを考えなくてはならない」。そう繰り返しお説きになったものである。私は書物もやはり、一種の邂逅かいごうだと思う。生きることに「問い」を持ち、「自分はどう生きるのか」という志を持って歩んでいけば、そこから縁が生まれる。そして縁は育てなければならない。志を持って一途に努力し続けていると、その時に必要な人物との出会いがあり、必要な書物が自分を呼んでくれる。
2. 若い時に「論語」や「養生訓」と出会い、今日まで座右の書として読み続けてきたことも、摩訶不思議な縁、眼に見えない天の働きとしかいいようがない。「養生訓」の冒頭に次の一節がある。「人の身は父母もとを本とし、天地はじめを初とす。天地父母のめぐみをうけて生れ、不養はれたるわが身なれば、わが私わたくしの物にあらず。天地のみたまもの、父母の残せる身なれば、つつしんでよく養ひて、そこなひやぶらず、天年てんねん (天寿) を長くたもつべし」。「養生訓」の著者・貝原益軒 (1630-1714) は、人間の命は天からの授り物だと説く。これが「養生訓」を貫く精神である。
3. 益軒は「畏」こそがまさに身を守る心法であると言う。人間は命が天からの授かり物であるとしたら、これを粗末おろそかにすることは許されない。つまり、生を養うためには、まず生命、天地自然を畏れることから始めよ、そして畏れる心から「慎しみ」と「惜しむ」心が生れるのだという。この「畏れ、慎しみ、惜しむ」こそが養生の根本である。

(参考:「致知」2009年9月号)

## 経営者のための営業学

軸にブレがないかぎり結果が出るのを待つ

1. 今期、イオンやイトーヨーカ堂などの大手スーパーが数千品目単位の値下げに打って出る中、埼玉県を地盤とする食品スーパー、ヤオコーは、「安さに走れば、社員が知恵や工夫を働かす場がなくなる、(大手) 値下げの影響は一時的には避けられないが、安さが決定打とはならない」と、独自の付加価値路線を崩さない。17期連続増収増益と圧倒的な経営力を見せ、現場力を最大限に発揮し、「個店経営」による、ライフスタイル提案型の店づくりを確立している。
2. 一方「個店経営」ゆえに苦戦もあった。店長の権限で個店ごとに品ぞろえを変えても、お客がすぐに反応してくれるわけではない。お客からの要望を取り入れたものでも、浸透するまで我慢の連続だった。それでも継続できたのは、「今すぐに花が開かないけど、もう少ししたら (成果が) 上がってくる」という川野幸夫社長 (現会長) の口癖だった。採算が悪くてもそこですぐやめてはならない。軸がブレていないかぎり結果は待つという社風が、挑戦を後押ししたのだ。

(参考:「週刊東洋経済」:2009年6月6日号)

## 経営者のための危機管理

日本は欧米に比べてハイリスク

1. 新型インフルエンザは、秋以降への警戒が必要だ。経済被害を試算すると、日本の被害規模は先進国のなかでも特に大きい。第一波の混乱を教訓にしたリスクマネジメントが欠かせない。秋以降に季節性のインフルエンザとともに豚由来の新型インフルエンザの第二波が押し寄せ、かつ強毒性に変わる可能性もある。さらに、秋以降のリスクとして、鳥由来の新型インフルエンザが発生する可能性も想定しておいたほうがいい。
2. 経済被害を発生させる主な要因は三つある。①死亡による直接的被害、②欠勤などによる生産性低下、③感染拡大防止に伴う経済活動の停滞である。世界銀行の調査レポートによると、①が12%、②が28%、③が最大の60%となる。③の最たるものは航空機による旅行や出張の減少、外食やショッピングなどの消費行動の低迷だ。オーストラリアのロウイー研究所によると、日本の経済被害は軽度の場合、GDPの1%、重度の場合は8.2%。他の欧米の先進国と比べて、想定すべき被害規模が飛び抜けて大きい。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2009年6月13日号)

## 古典に学ぶ

魂そのものの覚醒

「真の教育というものは、単に教科書を型通りに授けるだけにとどまらないで、すすんで相手の眠っている魂を揺り動かし、これと呼び醒ますところまで行かねばならぬのです。このように相手の魂をその根本から揺り動かして目を醒ますためには、まず教師その人に、それだけの信念の力がなければならぬでしょう」

(参考:森信三「修身教授録抄」:致知出版社)